県総合防災訓練 都留市を会場に展開

五月三十日、第十六回山梨県総合防災訓練が都留市を会場に展開されました。

都留第一中学校、市民グランドを主会場に市全域で行なわれ、県市、防災関係機関、市民など約一万人が参加し、実戦さながらの防災訓練を披露しました。

訓練に先立ち、県災害対策本部長の望月知事は「多様化する災害に対処できるよう訓練に励んでほしい」と訓示し、市災害対策本部長の高部市長は「将来ありうる大災害に備えて、市民は今後の教訓とされたい」とあいさつしました。

各種協力団体の人員報告を受ける望月知事と高部市長

訓練は、午前九時十五分、御前崎南方五十キロメートル、深さ五十キロメートル、マグニチュード8の地震が発生し、特に桂川流域の被害は大きく、市内においては火災が発生し、道路、通信、電力水道施設等が破壊され、家屋の全壊二一〇棟、半壊三二〇棟、道路橋りょうの破壊四六ヶ所などの破害が発生したという想定で行なわれました。

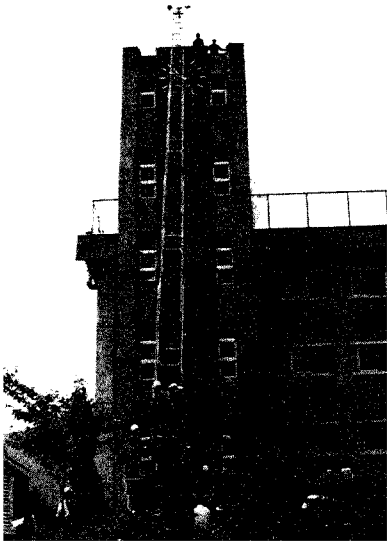
消防車など車両六四台、自衛隊のヘリコプターなども出動し、迅速で的確な措置に参観人は感心するばかりでした。

園児、小中学生、市民が一体となった避難訓練や、炊出し、救助給水、防疫、救助物資輸送、水防消火など多彩な訓練が繰広げられ災害に対する日頃の心がまえを養う有意義な一日でした。

災害想定訓練 フォト集

避難訓練

都留市災害対策本部から発令された第二次避難命令により、避難誘導班の誘導のもと都留第一中学校へ避難する園児



建物救助訓練

都留第一中学校で火災が発生し逃げおくれた負傷者が屋上で救助を求めているためハシゴ車が出動

写真右

救護訓練

救出された負傷者は日赤奉仕団などの協力で応急手当を受ける。